B5FK-5981-01

FUJITSU Workstation CELSIUS

取扱説明書

このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。
お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

はじめに添付品を確認してください

万一、欠品などがございましたら、ご購入元にご連絡をお願いします。
カスタムメイド添付品は、カスタムメイドで変更または追加した場合のみ添付されます。

標準添付品		
□ ワークステーション本体	□ 電源ケーブル（本体用）注1	□ DVI-VGA 変換アダプタ
□ 電源ケーブルホルダー	□ 取扱説明書（本紙）	□ 保証書
□ Rack Mounting Kit（レール ×2、M5 皿ネジ ×2、イージーマウントクリップ アンロック治具）		

カスタムメイド添付品
□ mini-DP to DP cable、mini-DP to DVI-D cable
□ トラブル解決ナビ & リカバリデータディスク注2、ドライバーズディスク

注 1：添付の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200 ～ 240V 環境でご使用になる場合は、富士通製品情報ページ内にある「システム構成図」（http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/syskou/）をご覧になり、別途 AC200 ～ 240V 用電源ケーブルをご用意ください。
注 2：搭載されている OS に応じたディスクが添付されています。OS によっては、ディスクが複数枚添付されている場合があります。
・Windows 8.1 Pro の場合：Windows 8.1 Pro（64 ビット版）のディスクが添付されます。
・Windows 7 Professional の場合：Windows 7 Professional（64 ビット版）のディスクが添付されます。

マニュアルについて

●取扱説明書（本書）
添付品、ワークステーションの使用上の注意、設置、接続、セットアップまでを説明しています。

●リカバリガイド（ハードディスク）
リカバリデータやドライバーのディスクを作成する方法とリカバリ方法を説明しています。
次の手順でご覧になれます。
・ Windows 8.1：デスクトップ画面上の「リカバリガイド」アイコンをダブルクリックします。
・ Windows 7　：「スタート」ボタン →「すべてのプログラム」→「マニュアル」→「リカバリガイド」の順にクリックします。

●製品ガイド
本製品のハードウェア、ソフトウェア全般にわたっての使い方の説明や技術情報を記載しています。

●機能別マニュアル
カスタムメイドで選択した機能をはじめ、特定の機能について説明しています。

マニュアルは、改善のため変更することがあります。
上記のマニュアルは、インターネットで最新版を公開しています（マニュアルのほか、お使いになるうえでの注意事項を公開しています）。

http://www.fmworld.net/biz/celsius/manual/

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.4）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

使用許諾契約書　（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内のハードディスクに格納しています。
セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日頃からバックアップをとられることをお勧めします）。

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において　1 日約 8 時間、1ヶ月で 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。
- 1 日 8 時間以上の連続運転等で早期に部品寿命を迎えた場合、修理に応じられない場合があります。

　　＜主な有寿命部品一覧＞
　　液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、フラッシュメモリディスク、光学ドライブ、キーボード、マウス、ファン

24 時間以上の連続使用について

- 本製品（24 時間モデルを除く）は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

24 時間モデルについて

- 本製品は、長寿命電源や長寿命ハードディスク、長寿命 CPU ファンを使用しているため、24 時間以上連続してお使いいただけます（グラフィックスカードを除く。部品寿命の場合、有償修理となりますので別途保守契約が必要となります）。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

本製品には、“ 外国為替及び外国貿易法 ” に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

電気・電子機器に含まれる特定化学物質〈鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、PBB（ポリ臭化ビフェニル）、PBDE（ポリ臭化ジフェニルエーテル）の 6 物質〉の使用を制限する欧州の規定である「RoHS 指令」に全機種対応しています。

本製品の有線 LAN インターフェースを、直接、電気通信事業者の回線（例：インターネットサービスプロバイダーが提供している通信網サービス等）に接続するためには、電気通信事業法による技術基準適合認定の取得、または電気通信事業者の検査による許可が必要ですので、ご留意ください。

クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2007
クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、富士通へライセンスされています。
ExpressCard™、ExpressCard™ ロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の商標で、富士通へライセンスされています。
NVIDIA、Quadro は、NVIDIA Corporation の登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2015

警告ラベル、 注意ラベル

本製品には、警告・注意ラベルが貼ってあります。これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
🛇	🛇で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。
お使いの機種によっては、搭載されていない機能についての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

■設置／準備

⚠ 警告

コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながる恐れがあります。

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。

台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり落下して、けが、故障の原因になります。

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因になります。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っかけ転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。

添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。

電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。

電源ケーブルや AC アダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。

電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。

濡れた手で電源ケーブルやACアダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

⚠ 注 意

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になることがあります。

本製品や AC アダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。
電源ケーブルや AC アダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。
- 電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 接続されたケーブルなどを外してください。
- 作業は足元に充分注意して行ってください。

本製品の質量が 18kg 以上の場合、持ち運ぶときは必ず 2 人以上で行ってください。
故障・けがの原因となることがあります（質量については『製品ガイド』をご覧ください）。

■使用時

⚠ 警 告

火中に投入、加熱しないでください。
発煙・発火・破裂の原因になります。

端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電、火災の原因になります。

本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に載ったり、寄りかかったりしないでください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。
排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。
低温やけどの原因になります。

風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になります。

本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。

使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないでください。
通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。
誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。

ACアダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。
感電、火災の原因になります。

ACアダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

タッチパネルはガラスを使用しているため、急激な衝撃を与えたり、本製品を転倒・落下させないでください。
破損するおそれがあります。また、破損した場合は、ガラスの破片に直接触れないよう注意して清掃してください。けがをするおそれがあります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。
液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。
- ショートさせない
- 加熱したり、火の中に入れたりする
- 端子部分をぬらしたり、水の中に入れない
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- 乾電池を充電しない
- ハンダ付けをしない

電源ケーブルやACアダプタが傷ついている場合は使用しないでください。
感電、火災の原因になります。

電源ケーブルやACアダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
感電、火災の原因になります。

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
感電、火災の原因になります。

ACアダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。

電源ケーブルやACアダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

無線LAN、無線WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFCポート、CLEARSURE、ワイヤレスマウス／キーボードの注意
次の場所では、無線通信機能を停止してください。「ワイヤレススイッチ自動オン機能」対応のCLEARSURE搭載機種の場合は、自動的に無線通信機能がオンにならないようにしてください。
無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。
- 病院内や医療用電子機器のある場所
  特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- 身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- 満員電車の中など付近（15cm（NFCポートは12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。
- 光源部を見ないでください。
  光学ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線をのぞきこまないでください。レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
- お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
  レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。

レーザー式マウスは底面から、目に見えないレーザ光が出ています。
クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。

⚠ 注 意

本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。
- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- 手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上になるように使用する。

光学ドライブのトレーやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。
けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

指定外の機器を本製品のアウトレットに接続して電源を取らないでください。
火災、故障の原因になります。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。
ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

「ExpressCard™」、「PC カード」、「SD メモリーカード」、「メモリースティック」、「UIM カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。
これらを取り外すときは、使用後充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。やけどの原因になります。

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザ光が出ています。
目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

■ メンテナンス／増設

⚠ 警 告

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
けが、感電、火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。
作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。
カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。
やけど、感電、火災の原因になります。

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。

指定以外の電池は使用しないでください。また、2本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。

電源ケーブルやACアダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。
故障、感電、火災の原因になります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

⚠ 注 意

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
けが、故障の原因になります。

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。
けが、故障の原因になります。

電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。
メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、充分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。
やけどの原因になります。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

■異常時

⚠ 警 告

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。

タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用するとけがをするおそれがあります。

バッテリパックや電池が液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因になります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

⚠ 注 意

カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特にお子様が近くにいる場合はご注意ください。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

■保管／廃棄

⚠ 注 意

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
バッテリパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。火災の原因になります。

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品にはリチウム電池を使用しております。ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投じられると電池が破裂するおそれがあります。使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→ P.4）もあわせてご覧ください。

ワークステーション本体取り扱い上の注意

故障の原因となりますので、次の点に注意してください。

●極端に温度変化が激しい場所でのご使用および保管は避けてください。

●電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、30 秒以上待ってから電源を入れてください。また、スリープ状態に移行した場合、電源ランプが緑色に点滅してから 10 秒以内は、マウスやキーボードを操作したり、電源ボタンを押したりしないでください。

●BIOS のパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。BIOS パスワードを忘れると、ワークステーションが使えなくなり修理が必要となります。

●「システムのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで、「パフォーマンス」の「設定」の項目は、初期設定のままお使いください。

●周辺機器は、弊社純正品をお使いください。

落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、ワークステーションの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。また、雷が鳴り出したら、ワークステーション本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類ありますが、ワークステーションの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。ワークステーションの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、電話線（モジュラーケーブル）、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもワークステーション本体を保護できないことがあります。

場合によっては、ワークステーション本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるワークステーション本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

使用・設置

使用、設置に適さない場所

●極端に高温または低温になる場所

●直射日光のあたる場所

●振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所

●車、飛行機、船など、輸送機器への設置

●湿気やほこり、油煙の多い場所
CPU ファンなどの機能を低下させる可能性があります。

●風呂場、シャワー室などの水のかかる場所

●腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所

●通気性の悪い場所

●火気のある場所

●台所などの油を使用する場所の近く

●テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所

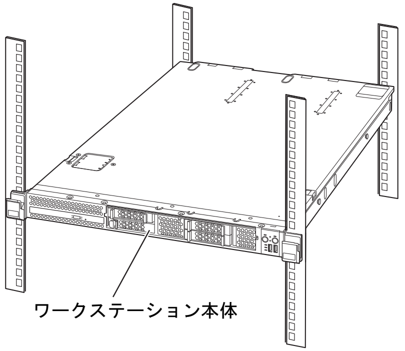
●電源ケーブルなどのケーブルが足にひっかかる場所

●次の温湿度条件の範囲を超える場所
・ 動作時：温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
・ 非動作時：温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
ただし、動作時、非動作時とも結露していないこと。

●結露する場所
結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。ワークステーションを温度の低い場所から温度の高い場所、または温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、ワークステーション本体内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままワークステーションを使用すると故障の原因となります。
ワークステーションを移動したときは、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

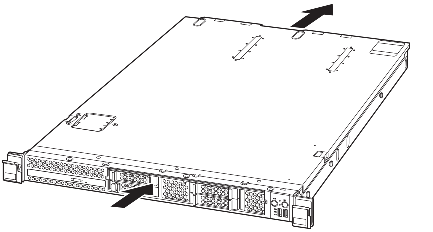
設置する

■ 設置例



■ 空気の流れ

本ワークステーションの空気の流れは次の図のとおりです。通風孔をふさがないように注意してください。



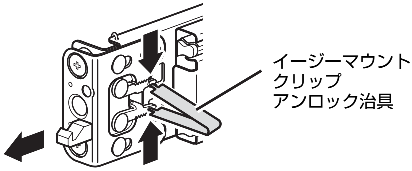
■ 設置時の注意

ワークステーション本体から排気した熱が周辺にこもらないように次の点に注意してください。

- ●ワークステーション本体は、必ず指定のラックに搭載してください。
- ●ワークステーション本体の通風孔をふさがないでください。
- ●ワークステーション本体背面をふさがないでください。

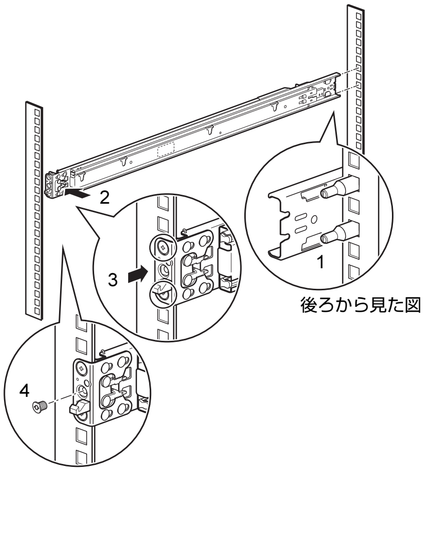
■ ラック搭載手順

1 イージーマウントクリップ　アンロック治具をラッチレバーの穴に差し込み、ロックを解除しながらフランジを引き出します。



2 スライドレールを取り付けます。

1. スライドレール後面側のピンをラックの取り付け位置に合わせて差し込みます。
   レールのラベルまたは刻印を確認し、左右を間違えないよう注意してください。
2. スライドレール前面側のフランジでラック支柱を挟み、前面側のピンをラックの取り付け位置に合わせます。
3. レールが固定されるまで、フランジを後に押し込みます。
   正しく固定されると、フランジの前面がピンの前端面と同面になります。
4. 耐震対策が必要な場合、M5 皿ネジで固定します。



3 反対側のレールも同じ手順で取り付けます。

4 ラッチレバーのロックがかかっていることを確認します。

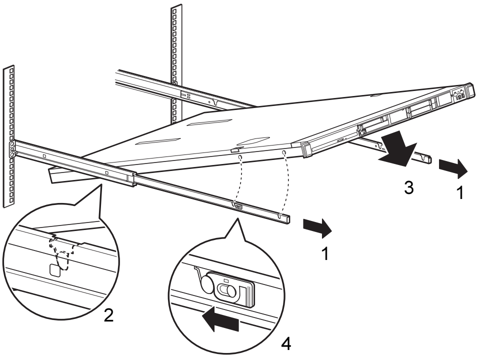
5 スライドレールを後方に押して、確実にスライドレールが固定されていることを確認します。

6 ワークステーションを取り付けます。

重要

- 『ラックシステム構築ガイド』(http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/)に記載されている「ラック搭載条件」をお読みください。
- 高所(34U以上の高さ)に取り付ける場合は、脚立を利用してラックに設置してください。

1. インナーレールを最後まで引き出します。
   カチッという音がして固定されるまで引き出します。
2. ワークステーション本体を少し傾けて、スライドレール奥から 2 番目のフックに、ワークステーション本体後方の凸部を合わせます。
3. ワークステーション前方の 4ヶ所の凸部もレールのフックに合わせます。
4. ワークステーションが 6ヶ所のフックに確実に取り付けられ、ロックがかかっていることを確認します。

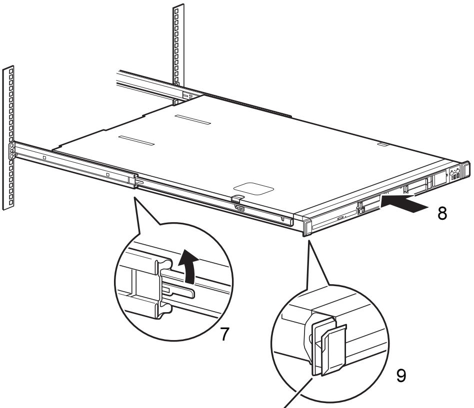


7 スライドレールの左右のレバーを上げて、ロックを解除します。

解除された状態にするには、レバーを上げたままにします。

8 レバーを上げたまま、サーバー本体をラックに挿入します。

9 ワークステーション本体前面の左右にあるクイックリリースレバー(QRL)がスライドレールフックに固定されていることを確認します。



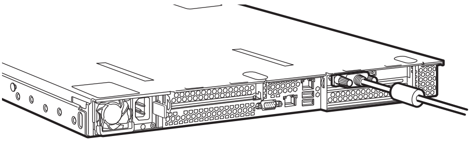
接続

重要

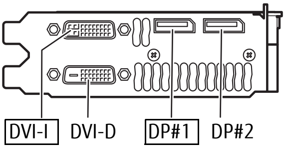
- RemoteAccessカードの接続は、セットアップ完了後に行ってください。
- KVMスイッチとRemoteAccessカードの同時接続はできません。

1 ディスプレイを接続します。

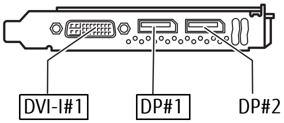
・ディスプレイケーブルは、グラフィックスカードのコネクタに接続します。
・セットアップが完了するまでは、下図の四角で囲ったコネクタのいずれかに、ディスプレイ 1 台のみを接続してください。
アナログディスプレイを接続する場合は、添付の DVI-VGA 変換アダプタを、デジタルディスプレイコネクタに接続してください。



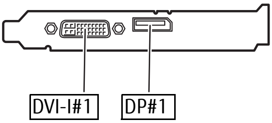
NVIDIA Quadro K5200



NVIDIA Quadro K4200/K2200



NVIDIA Quadro K620/K420

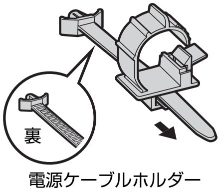


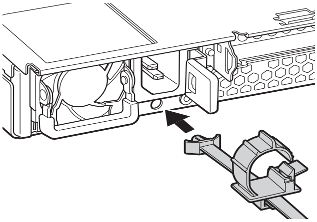
2 別途用意したマウスとキーボードを接続します。

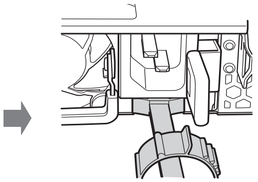
ワークステーション本体前面、またはワークステーション本体背面の USB コネクタに接続します。

3 電源ケーブルホルダーを準備します。

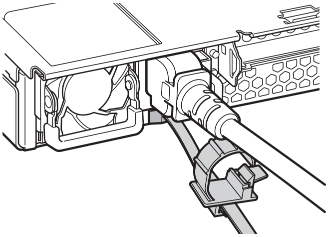
電源ケーブルホルダーを本体に取り付けます。
カチッと音がするまで差し込み、抜けないか確認してください。





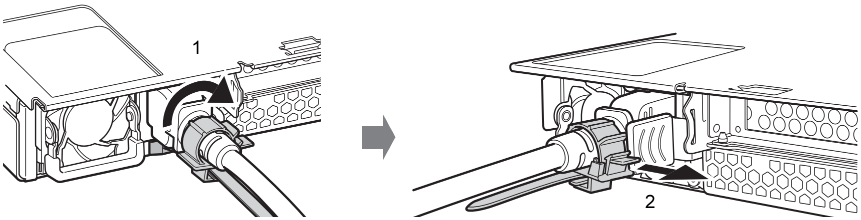


4 電源ケーブルをワークステーション本体背面のインレットに接続します。



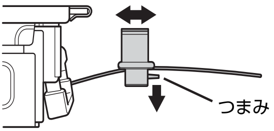
5　電源ケーブルホルダーで電源ケーブルを固定します。

1. 電源ケーブルホルダーを電源ケーブルに巻きつけます。
2. 矢印の方向に電源ケーブルホルダーの先を穴に通して引き、固定します。



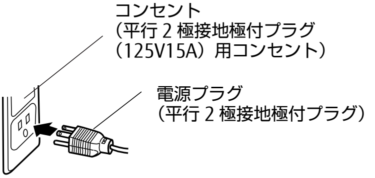
POINT

▶電源ケーブルホルダーの位置を調節したい場合は、次の図のつまみを押しながら動かしてください。



6　電源ケーブルの電源プラグをコンセント（AC100V）に接続します。

ワークステーション本体の電源ランプがオレンジ色に点灯します。その約 20 秒後に電源ボタンが有効になります。



注 ：平行 2 極接地用口出線付変換プラグは使用しないでください。

POINT

▶AC200～240V環境でご使用になる場合は、別途AC200～240Vに対応した電源ケーブルをご用意ください。

セットアップ

注意事項

●Windows のセットアップが完了するまでは、次のものを接続または変更しないでください。

Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。

- 周辺機器
- 2 台目のディスプレイ
- LAN ケーブル（Windows 8.1 のセットアップ時にインターネット接続する場合を除く）
- 拡張カード（RemoteAccess カードを含む）
- BIOS の設定

●セットアップ中は、電源を切らないでください。

●Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから操作してください。

■ セットアップで困ったときは

□ Windows セットアップが進められなくなった

電源ボタンを 4 秒以上押して、ワークステーション本体の電源を一度切り、セットアップをやり直してください。セットアップがやり直せない場合は、次の手順で「トラブル解決ナビ」を起動し、リカバリを行ってください。

1. 【F12】キーを押したまま、ワークステーション本体の電源を入れます。
2. 「FUJITSU」ロゴが表示された後、起動メニューが表示されたら【F12】キーを離します。
3. カーソルキーで「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。

4. 次のように操作します。
Windows 8.1 の場合：「リカバリ」→「C ドライブのみリカバリ」の順にクリックします。
Windows 7　の場合：「リカバリ」タブの「C ドライブのみご購入時の状態に戻す」を選択し、
「実行」をクリックします。

リカバリについて、詳しくは 『リカバリガイド』 をご覧ください。

セットアップする

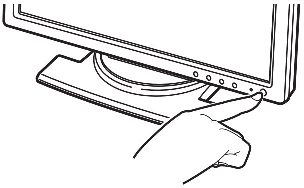
ここで説明するセットアップ手順は一例（インターネットに接続しない方法）です。画面の説明を読み、ご使用になる環境にあわせてセットアップをしてください。ネットワーク管理者がいる場合は、その指示に従ってください。

POINT

- **インターネットに接続してセットアップを行う場合**
セットアップの途中で、Microsoftアカウントを設定する画面が表示されます。このアカウントはWindowsの使用時のほか、次のサービスを利用するときのアカウントとなります。
・Windows ストア、クラウドサービス、一部のアプリケーション

■電源を入れる

1 ディスプレイの電源ボタンを押します。



2 ワークステーション本体前面の電源ボタン（⏻）を押します。

画面に「FUJITSU」ロゴが表示され、自己診断（POST）が始まります。
OS によっては、画面が表示されるまで、一時的に画面が真っ暗になることや変化がないことがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。
起動時にエラーが表示された場合は、『製品ガイド』の「BIOS」または「トラブルシューティング」をご覧ください。

自己診断（POST）が終わると「Windows のセットアップ」画面が表示されます。

この後は、お使いの Windows のセットアップを行ってください。

■Windows 8.1 の場合

1 「地域と言語」画面が表示されたら、それぞれリストから選択し「次へ」をクリックします。

2 「ライセンス条項」を読み、「同意します」をクリックします。

3 PC 名を入力し、「次へ」をクリックします。
12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）で入力してください。
数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。

4 「簡易設定を使う」をクリックします。

5 「お使いのアカウント」の画面で、次の項目を入力し、「完了」をクリックします。
・ユーザー名：12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）で入力してください。
手順 3 で使用した PC 名と同じ名前は使用できません。
・パスワード：12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）で入力してください。
・パスワードの確認入力：パスワードを再入力してください。
・パスワードのヒント：半角英数字のほか、かな、漢字も使用できます。

POINT

- Windowsのライセンス認証が行われていないため、「Windowsのライセンス認証」という青い画面が表示されることがあります。「PCの設定を開く」をクリックし、インターネットまたは電話で、Windows 8.1のライセンス認証を行ってください。

■Windows 7 の場合

1 画面の指示に従って、ユーザー名、パスワード、パスワードのヒントを入力し、「次へ」をクリックします。
・ユーザー名：12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）で入力してください。
・数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。
・パスワード：半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）で入力してください 。大文字、小文字は区別されます。
・コンピューター名：ここでは変更せず、セットアップの終了後に変更してください。

2 「ライセンス条項」をよく読み、2ヶ所の「ライセンス条項に同意します」にチェックを付けて、「次へ」をクリックします。

3 「推奨設定を使用します」をクリックします。
「ワイヤレスネットワークへの接続」が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。」

4 「必ず実行してください」ウィンドウが表示されたら、内容を確認し、「実行する」をクリックします。

5 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。
再起動メッセージが表示されるまで、キーボードやマウスを操作しないでください。

6 「OK」をクリックします。
本ワークステーションが再起動し、パスワードの入力画面が表示されます。

7 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。
Windows が起動します。

セットアップ後

■ ご使用になる前に

インターネット上のマニュアルなどをご覧になって操作や設定を行い、本ワークステーションをお使いください。

□ Windows Update

インターネットに接続し、Windowsを最新の状態に更新します。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

□ **ディスクの作成 → 『リカバリガイド』**

ハードディスクに格納されているデータから、リカバリに必要なディスクを作成します。できるだけ早くディスクを作成してください。
カスタムメイドでリカバリデータディスクを購入されている場合は、ディスクの作成はできません。

□ BIOS パスワード、 **お手入れ → 『製品ガイド』**

事前に該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

□ SATA-RAID1、 RemoteAccess カード → **『機能別マニュアル』**

■ トラブル発生時の対処

トラブルの発生時に備えて、『リカバリガイド』と『製品ガイド』の該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

●Windows が起動しなくなった場合
診断プログラムを使用し、障害箇所を診断できます。
「トラブルシューティング」－「トラブル発生時の基本操作」－「診断プログラムを使用する」

●起動時にエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が鳴った場合
「トラブルシューティング」－「よくあるトラブルと解決方法」－「起動・終了時のトラブル」

お問い合わせ先

インターネット上のマニュアルをご覧になっても不明な点がございましたらお問い合わせください。

お問い合わせの前に、ワークステーション本体のラベルまたは保証書に記載されている、型名（MODEL）、製造番号（SERIAL）、16 桁の英数字（0000000-00-0000-000）の確認をお願いします。

技術的な ご質問・ご相談	**富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口** 通話料無料：0120-950-222 受付時間：9：00 ～ 17：00（土曜、日曜、祝日およびシステムメンテナンス日を除く） ※ 受付後に、専門技術員からのコールバックとなります。
ハードウェアの 故障・修理	**富士通ハードウェア修理相談センター** 通話料無料：0120-422-297 受付時間：9：00 ～ 17：00（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）
富士通サプライ品の ご購入	**富士通コワーコ株式会社　お客様総合センター** 通話料無料：0120-505-279 受付時間：9：00 ～ 17：30（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く） URL：http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/

CELSIUS

取扱説明書

B5FK-5981-01-01

発 行 日：2015 年 7 月

発行責任：富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

●無断転載を禁じます。

●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収·リサイクルにお出しください。

B5FK-5981-01

ア 1507-1